

1. 教育委員会事務局職員の横領等の不祥事について

今回の不祥事は、懲戒免職になった職員が、市民文化祭実行委員会の通帳から委託費として引き出した現金を、平成22年度から29年度にかけて合計434万8,080円を横領したものです。

また、平成30年度には52万4,880円を紛失し、横領と紛失の埋め合わせをするために、市の予算から不正支出したというものです。

私は、これまで「水道局の資金運用問題」やバードフェスティバル実行委員会の不適切な会計処理問題、そして保健センター職員の3つの横領等の案件を通して、公金の取り扱いや管理体制について、その適正な運用を求めてきました。

しかし、また、職員による横領が起こってしまい残念に思います。これまでの再発防止策をしっかりと検証し、二度と不祥事が起こらないようにしなければなりません。そこで、まず、

(1)これまでの会計処理の適正化や横領等の再発防止策の検証について

私は、平成18年6月議会で、バードフェスティバル実行委員会の不適切な会計処理問題を受けて、会計処理も含めた実行委員会の事務局体制の整備、会計処理マニュアルの作成、法令順守の徹底、財政援助団体に対する監査の充実を強く求めました。

また、その翌年の平成19年に、保健センター職員による犬の登録事務、健康フェア、健康サポートクラブ21の3つの事務事業の中で業務上管理する金銭の横領が発覚し、同年12月議会で、市役所のコンプライアンス体制を確立し、今後二度とこのような不祥事を起こさないようにするための再発防止策について質問しました。

これまで不祥事が起こるたびに再発防止策が検討され、職員への訓示が行われましたが、不祥事が繰り返されています。これまでの取組みが本当に機能していたのか検証が必要です。まず、これまでどんな会計処理の適正化や横領等の再発防止策

が取り組まれてきたのか時系列でお示してください。そして、これまでの取組の検証結果をお聞かせください。また、職員へのコンプライアンス意識の徹底はなされているのか、併せてお答えください。

(2)通帳と印鑑の管理について

今回の職員による公金の横領においては、当該職員が長年にわたって実行委員会の通帳や印鑑の管理、お金の出し入れを代行していたと聞いて大変驚きました。

過去のじゃバンバードフェスティバル実行委員会の不適切な会計処理問題や健康フェア実行委員会の経費の横領等を受けて、実行委員会の通帳や印鑑の管理については、原則、実行委員会で管理し、担当職員が一人で管理することはなくなったと考えていましたが、そうではなりませんでした。

実行委員会形式の各種事業の通帳と印鑑の管理の現状をお聞かせください。また、今後の管理体制について、市と教育委員会のお考えをお聞かせください。

(3)不正支出の防止策について

ア. 事業者の請求書について

今回、職員が市の予算から不正支出した手口は、事業者に偽った件名で請求書を作成させ、その請求書に基づいて支出決議票を起票し、市の予算から不正支出しています。この手口は平成19年に発覚した健康サポートクラブ21事業の横領の手口と全く同じです。

業者に偽の請求書を作成させることが簡単にできるのでしょうか。

平成19年度の不正支出を受けて、業者に偽った件名で請求書を作成させることができなくする手立てを考えなかったのでしょうか。

また、今回、業者に作成させた請求書の宛先は全て担当職員となっていました、複数の目でチェックできるように請求書の宛先を担当課などにする工夫も必要だと考えます。

事業者の請求書についての不正支出防止策をお聞かせください。

イ. 支出決議票の作成について

公金を支出する際、支出決議票を起票しますが、今回は起票に際して上司の印鑑が無断使用されました。これまでの上司の印鑑の保管方法と今後の無断使用防止策をお聞かせください。

また、支出決議票は誰がチェックしているのでしょうか？ 作成マニュアルはあるのでしょうか？ 不正な支出決議票を見抜く手立てについても、お考えをお聞かせください。

(4)不正行為が長い間発覚しなかった原因と 今後の対応策

今回の職員の不正行為は9年間続いていました。不正が発覚したきっかけは、事業者からの未払いについての問い合わせだったといいますが、何故、この間、横領等が発覚しなかったのか不思議に思います。事業者からの問い合わせがなければ今でも不正は続いていたかもしれません。

9年間もの間、不正行為が発覚しなかった原因はどこにあるとお考えですか。また、不正行為を早期に発見するための今後の対応策についてもお聞かせください。

(5)再発防止策のチェック体制

平成19年12月議会で、ルールを作ったらルールが守られているかをチェックする体制を作ることが必要だと提案しました。

そして市長からは、再発防止策を講じた後も十分に防止策が機能しているかを継続的に検証する仕組みを調査委員会で検討するのご答弁がありました。現在、継続的に検証する仕組みはあるのか、お答えください。

(6)我孫子市公金横領等再発防止検討委員会の概要と、その調査結果と再発防止策の市民への報告

平成19年に発覚した保健センターでの不祥事の際には、公金等管理調査委員会が設置されました。そして、今回も設置すると伺っています。委員会の設置目的、メンバー構成、そして、調査結果と再発防止策の市民への報告について、お考えをお聞かせください。